

④新規用途開拓による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上

事業名 ソデイカ、モズク、アーサ、シャコ貝、ウニなどの沖縄県産の海産物を使用した加工品の商品開発及び販路開拓

沖縄近海の海産物を原料とした加工品開発で地域ブランド化を図り、県内外での販路開拓を行う事業

➤ 連携体

農林漁業者

今帰仁漁業協同組合(漁業)

漁協で取り扱う沖縄近海魚貝類の原料提供及び第一次加工、販路開拓

中小企業者

株式会社 丸昇物産(食料品製造業)

セイイカ等沖縄近海魚貝類を原料とした商品開発及び販路開拓

サポート機関等

(独)中小企業基盤整備機構沖縄事務所

➤ 連携の経緯

今帰仁漁協と(株)丸昇物産の両社については、以前より取引関係があるが、水揚げ、出荷を増やしたい今帰仁漁協と既存商品の高付加価値化、新商品開発を行いたい(株)丸昇物産の思惑が一致し、連携に至る。

ソデイカ、モズクの水揚げが主な今帰仁漁協と、長年に渡りソデイカ、モズク等の海産物の商品開発を行っている(株)丸昇物産が、お互いの強みを活かし、新商品の開発、市場開拓を行う。ソデイカを原料に、紅麹菌、テンペ菌、カマンベール菌、乳酸菌等を使用した発酵商品の開発や新規性のある新商品の開発を進めていく。

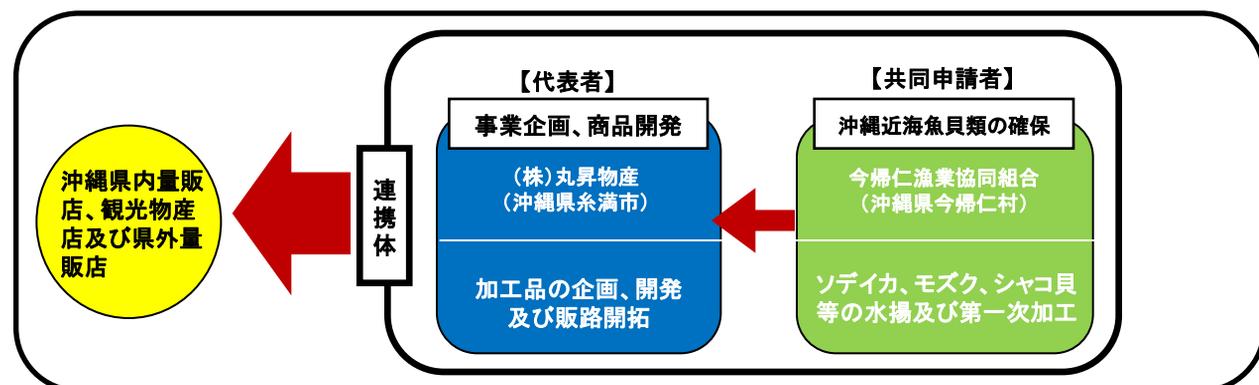
➤ 連携に当たっての課題や工夫等

両者は、従来より取引関係にあったため、連携体の構築は問題なく行われた。連携体の課題は、今帰仁漁協で水揚げされた魚貝類を、どのように付加価値を付け新商品(加工品)を開発するかが課題であった。インターネットや量販店の棚回りを調査したり、中小機構の担当者との意見交換やアイデア出しを行いながら、商品の種類を揃えることができた。

特に、ソデイカの発酵食品は市場に無いことから、期待が大きい。



【 海産物加工品 】



➤ 連携による効果

農林漁業者

本事業での5年後の売上目標(19,139千円)。営業利益目標(16,784千円)

本事業で開発した商品を今帰仁漁協ブランドで販売することや水揚げ量の増加による売上増加が期待できる。

中小企業者

本事業の5年後の売上目標(32,888千円)。営業利益目標(15,274千円)

中小機構のハンズオン支援により、県内外の商談会に参加する。量販店への販路開拓で売上増加が期待できる。

企業名:株式会社 丸昇物産

住所:沖縄県糸満市西崎町5-12-7

電話番号 098-852-3070 FAX番号098-994-0110

ホームページ: <http://marusho.info/>